

令和2年第3回中泊町議会定例会 決算特別委員会会議録目次

第 1 号 (9月16日)

議事日程	1
出席委員	1
欠席委員	2
出席説明員	2
職務のため出席した事務局職員	2
臨時委員長の紹介	3
開会の宣告	3
委員長選挙	3
副委員長選挙	4
会議録署名委員の指名	5
会期の決定	5
監査結果の報告	5
議案第42号の上程、説明、質疑	6
・議案第42号 令和元年度中泊町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定に ついて	
議案第43号の上程、説明、質疑	11
・議案第43号 令和元年度中泊町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定に ついて	
議案第44号の上程、説明、質疑	13
・議案第44号 令和元年度中泊町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認 定について	
議案第45号の上程、説明、質疑	15
・議案第45号 令和元年度中泊町漁業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認 定について	
議案第46号の上程、説明、質疑	16
・議案第46号 令和元年度中泊町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	

について

議案第47号の上程、説明、質疑	18
・議案第47号 令和元年度中泊町水道事業特別会計利益の処分及び決算の認定	

について

散会の宣告	20
-------	----

第 2 号 (9月17日)

議事日程	21
出席委員	21
欠席委員	21
出席説明員	21
職務のため出席した事務局職員	22
開議の宣告	23
議案第41号の上程、説明、質疑	23
・議案第41号 令和元年度中泊町一般会計歳入歳出決算の認定について	
議案第41号～議案第47号の討論	33
議案第41号～議案第47号までの採決	33
閉会の宣告	34
署名	35

令和 2 年中泊町議会決算特別委員会

令和 2 年 9 月 1 6 日（水曜日）

○議事日程 第 1 号

- 1 臨時委員長の紹介
- 2 委員長の選挙
- 3 副委員長の選挙
- 4 会議録署名委員の指名
- 5 会期の決定
- 6 監査結果の報告
- 7 議案第 4 2 号 令和元年度中泊町国民健康保険特別会計歳入歳出
決算の認定について
- 8 議案第 4 3 号 令和元年度中泊町介護保険事業特別会計歳入歳出
決算の認定について
- 9 議案第 4 4 号 令和元年度中泊町農業集落排水事業特別会計歳入
歳出決算の認定について
- 1 0 議案第 4 5 号 令和元年度中泊町漁業集落排水事業特別会計歳入
歳出決算の認定について
- 1 1 議案第 4 6 号 令和元年度中泊町後期高齢者医療特別会計歳入歳
出決算の認定について
- 1 2 議案第 4 7 号 令和元年度中泊町水道事業特別会計利益の処分及
び決算の認定について

○出席委員（13名）

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 番 田 中 洋 君 | 2 番 今 博 子 君 |
| 3 番 成 田 直 人 君 | 4 番 秋 元 隆 君 |
| 5 番 塚 本 悦 子 君 | 6 番 荒 関 富 雄 君 |
| 7 番 秋 田 博 君 | 8 番 川 山 光 則 君 |
| 9 番 青 山 雅 晴 君 | 1 0 番 沖 崎 勲 君 |
| 1 1 番 野 上 憲 幸 君 | 1 2 番 野 上 祐 一 君 |
| 1 3 番 長 利 司 君 | |

○欠席委員（なし）

○出席説明員

町	長	濱	舘	豊	光	君
副	町	長	横	野	彰	吾
教	育	長	米	塚	鈴	子
代	表	監	葛	西	昭	文
代	表	監	葛	西	成	芳
務	課	長	毛	内	康	裕
財	政	課	三	上	晃	瑠
総	合	戦	太	田	光	平
略	課	長	山	中	哲	哉
税	務	課	木	元		剛
町	民	課	藤	本	雅	久
福	祉	課	古	川	幹	人
環	境	整	越	野	進	一
備	課	長	加	藤	孝	典
農	政	課	成	田	勝	輝
水	産	商	藤	田	康	久
工	工	観	柏	崎	裕	司
光	課	長	下	山	貴	子
小	泊	支	阿	部		明
所	長					
教	育	次				
長						
總	務	学				
務	課	長				
社	会	教				
育	課	長				
会	計	課				
長						
上	下	水				
道	課	長				

○職務のため出席した事務局職員

事	務	局	長	宮	越	裕	子	君
總	務	課		木	村	将	師	君
行	政	情	報					
係								

◎臨時委員長の紹介

○議会事務局長（宮越裕子君） おはようございます。決算特別委員会の開会に当たり、事務局から臨時委員長のご紹介をいたします。

今日は、去る9月11日の本会議において決算特別委員会が設置されてから初めての委員会となります。委員長が互選されるまでの間、委員会条例第10条第2項の規定によって、出席委員の中で年長の委員が臨時に委員長の職務を行うことになっております。

出席委員の中で野上祐一委員が年長の委員でありますので、野上祐一委員に臨時委員長をお願いいたします。

野上委員、委員長席へお願いいたします。

○野上（祐）臨時委員長 おはようございます。ただいま紹介をいただきました野上です。委員会条例第10条第2項の規定によって、臨時に委員長の職務を行います。どうぞよろしく申し上げます。

◎開会の宣告

○野上（祐）臨時委員長 ただいまの出席委員数は13人です。定足数に達しておりますので、これから決算特別委員会を開会します。

本日の議事日程はお手元に配付のとおりです。

◎委員長選挙

○野上（祐）臨時委員長 日程第2、委員長の選挙を行います。

お諮りします。委員長の選挙は指名推選の方法によって行いたいと思います。ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○野上（祐）臨時委員長 ご異議なしと認めます。

よって、委員長の選挙は指名推選の方法によって行うことに決定しました。

お諮りします。指名の方法については、私が指名することにしたいと思いますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○野上（祐）臨時委員長 異議なしと認めます。

したがって、私が指名することに決定しました。
決算特別委員会委員長に沖崎勲委員を指名します。
ただいまの指名にご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○野上(祐) 臨時委員長 異議なしと認めます。

したがって、沖崎勲委員が委員長に当選されました。
当選の告知をします。

ただいま委員長に当選されました沖崎勲委員に承諾及び挨拶をお願いいたします。沖崎勲委員、登壇お願いいたします。

(決算特別委員長 沖崎 勲君登壇)

○沖崎委員長 おはようございます。ただいま委員長という、皆さんにご推挙をいただきました。本当にありがとうございますではないのですが、コロナということで、この決算も早めに終わりたいと思っておりますので、何とか委員の皆さんも多くしゃべらないでければと思っておりますので、ひとつよろしくお願いを申し上げ、挨拶とします。

○野上(祐) 臨時委員長 以上で臨時委員長の職務を終わります。ご協力ありがとうございました。

沖崎勲委員長と交代します。沖崎委員長、お願いいたします。

(臨時委員長、委員長と交代)

◎副委員長の選挙

○沖崎委員長 それでは、早速ですが、日程第3、副委員長の選挙を行います。
お諮りします。副委員長の選挙は指名推選の方法によって行いたいと思えます。異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○沖崎委員長 異議なしと認めます。

よって、副委員長の選挙は指名推選の方法によって行うことに決定しました。

お諮りします。指名の方法については、私が指名することにしたいと思えますが、異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○沖崎委員長 異議なしと認めます。

したがって、私が指名することに決定しました。

決算特別委員会副委員長に田中洋委員を指名します。

ただいまの指名にご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○沖崎委員長 異議なしと認めます。

したがって、田中洋委員が副委員長に当選されました。

当選の告知をします。

ただいま副委員長に当選されました田中洋委員に承諾及び挨拶をお願いいたします。登壇をお願いいたします。

(決算特別副委員長 田中 洋君登壇)

○田中副委員長 ただいま皆様方のご推挙によりまして、副委員長に選ばれました田中です。委員各位のご厚意に対し、厚く御礼申し上げます。

令和元年度中泊町の決算審査に当たり、沖崎委員長をサポートして、スムーズな審査に努めたいと思いますので、委員各位のご協力をお願い申し上げまして、副委員長就任の挨拶とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

◎会議録署名委員の指名

○沖崎委員長 それでは、日程第4、会議録署名委員の指名を行います。

決算特別委員会の会議録署名委員は、2番、今博子委員及び3番、成田直人委員を指名します。

◎会期の決定

○沖崎委員長 日程第5、会期の決定の件を議題にします。

お諮りします。決算特別委員会の会期は本日と明日17日の2日間にしたいと思います。ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○沖崎委員長 異議なしと認めます。

したがって、決算特別委員会の会期は本日と明日の17日の2日間に決定しました。

◎監査結果の報告

○沖崎委員長 議案の審査に入る前に、代表監査委員に監査結果の報告を求めます。

葛西代表監査委員。

○代表監査委員（葛西昭文君） おはようございます。町長より審査に付されました令和元年度中泊町一般会計及び各特別会計並びに公営企業会計、水道事業の決算について、その審査の結果の概要をご報告申し上げます。

審査に付されました各会計の決算等は、法令及び会計の原則に従って作成され、また決算諸表の計数はそれぞれの関係書類と符合しており、予算執行についても議決予算に従って執行されており、適正であると認められました。

なお、詳細につきましては各会計ごとの意見書のとおりでございますので、どうぞよろしく願いいたします。

○沖崎委員長 監査結果の報告が終わりました。

ただいまの報告に対して質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

○沖崎委員長 質疑なしと認め、監査報告に対する質疑を終わります。

◎議案第42号の上程、説明、質疑

○沖崎委員長 これより議事に入ります。

本日は、決算特別委員会に付託された議案第42号から議案第47号までの令和元年度中泊町各特別会計歳入歳出決算及び利益の処分及び決算の審査を行います。

お諮りします。各議案の審査は歳入と歳出を一括して行いたいと思います。ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○沖崎委員長 異議なしと認めます。

したがって、各議案の審査は歳入と歳出を一括して行うことに決定しました。

なお、質問の際は決算書のページを示してお願いします。

日程第7、議案第42号 令和元年度中泊町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定についてを議題にします。

本案について担当課長に説明を求めます。

山中町民課長。

○町民課長（山中哲哉君） おはようございます。議案第42号 令和元年度

中泊町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定についてご説明いたします。

初めに、事業勘定からご説明いたします。159ページを御覧ください。歳入決算額では、調定額18億6,476万9,798円、収入済額17億2,095万4,861円、不納欠損額1,909万640円、収入未済額1億2,472万4,297円、予算現額と収入済額との比較はマイナス8,967万9,139円となり、前年度決算額と比較しますとマイナス1億4,054万1,213円、率にして7.55%の減となりました。

161ページを御覧願います。歳出決算額では、支出済額16億385万5,641円、不用額及び予算現額と支出済額との比較は、同額の2億677万8,359円、前年度決算額と比較しますとマイナス1億1,197万4,959円、率にして6.53%の減となりました。歳入歳出差引残額は1億1,709万9,220円となり、その全額を令和2年度へ繰り越すものであります。

次に、歳入歳出決算の概要について歳入歳出決算事項別明細書により歳出からご説明いたします。

169ページを御覧願います。第1款総務費では、支出済額が2,432万4,507円、不用額は693万9,493円となっております。第1項総務管理費では、支出済額が2,077万518円となっております。170ページを御覧願います。第2項徴税费では、支出済額が343万9,639円となっております。第3項運営協議会費では、支出済額が11万4,350円となっております。

第2款保険給付費では、支出済額が9億8,606万2,976円で、不用額が1億8,006万6,024円となっております。第1項療養諸費では、支出済額が8億6,287万8,654円となっております。171ページを御覧願います。第2項高額療養費では、支出済額が1億1,847万4,322円となっております。第3項移送費では、支出済額がありませんでした。第4項出産育児諸費では、支出済額が336万円となっております。第5項葬祭費では、支出済額が135万となっております。

172ページを御覧ください。第3款国民健康保険事業費納付金では、支出済額が4億1,801万5,255円で、不用額が273万

3, 745円となっております。第1項医療給付費分では、支出済額が3億166万6,958円となっております。第2項後期高齢者支援金等分では、支出済額が7,976万6,733円となっております。第3項介護納付金分では、支出済額が3,658万1,564円となっております。

第4款共同事業拠出金では、支出済額が100円となっております。

第5款財政安定化基金拠出金では、支出済額はありませんでした。

173ページを御覧ください。第6款保健事業費では、支出済額が1,285万8,465円で、不用額は714万4,535円となっております。第1項保健事業費では、支出済額が432万8,290円となっております。第2項特定健康診査等事業費では、支出済額が853万175円となっております。

第7款基金積立金では、支出済額が1億4,566万4,964円となっております。

174ページを御覧ください。第8款公債費では、支出済額はありませんでした。

第9款諸支出金では、支出済額が1,692万9,374円で、不用額が154万2,626円となっております。第1項償還金及び還付加算金では、支出済額が256万5,374円となっております。第2項繰出金では、支出済額が1,436万4,000円となっております。

175ページを御覧ください。第10款予備費では、支出済額はありませんでした。

以上で歳出の説明を終わります。

次に、歳入についてご説明申し上げます。恐れ入りますが、165ページにお戻り願います。第1款国民健康保険税では、調定額5億3,259万2,812円に対し収入済額は3億8,877万7,875円、不納欠損額は1,909万640円、収入未済額は1億2,472万4,297円、収納率は前年度比1.15%増の73%となりました。

166ページを御覧ください。第2款使用料及び手数料では、調定額、収入済額が同額の25万8,600円となっております。

第3款国庫支出金では、収入済額はありませんでした。

第4款県支出金では、調定額、収入済額が同額の10億4,413万9,260円となっております。第1項県補助金では、調定額、収入済額が同額の10億4,413万9,260円となっております。第2項財政安定化基金交付金では、収入済額はありませんでした。

第5款財産収入では、調定額、収入済額が同額の1,964円となっております。

第6款繰入金では、調定額、収入済額が同額の1億3,681万1,497円となっております。

167ページを御覧ください。第7款繰越金では、調定額、収入済額が同額の1億4,566万5,474円となっております。

第8款諸収入では、調定額、収入済額が同額の530万191円となっております。第1項延滞金加算金及び過料では、調定額、収入済額が同額の496万420円となっております。第2項受託事業収入では、収入済額はありませんでした。第3項雑入では、調定額、収入済額が同額の33万9,771円となっております。

以上で事業勘定の歳入歳出決算の説明を終わります。

引き続き、診療施設勘定についてご説明いたします。恐れ入りますが、162ページにお戻り願います。歳入決算額では、調定額、収入済額が同額の1億3,991万1,484円、予算現額と収入済額との比較はマイナス475万7,516円となり、前年度決算額と比較しますとマイナス406万4,098円、率にして2.82%の減となりました。

163ページを御覧願います。歳出決算額では、支出済額が1億3,991万437円、不用額及び予算現額と支出済額との比較は同額の475万8,563円となり、前年度決算額と比較しますとマイナス406万4,186円、率にして2.82%の減となりました。歳入歳出差引残額は1,047円となり、その全額を令和2年度に繰り越すものであります。

次に、歳入歳出決算の概要について歳入歳出決算事項別明細書により歳出からご説明いたします。

183ページを御覧ください。第1款総務費では、支出済額が9,654万6,143円で、不用額が174万857円となっております。第1項医療施設管理費は、支出済額が7,306万651円とな

っております。185ページを御覧ください。第2項歯科施設管理費では、支出済額が2,348万5,492円となっております。

186ページを御覧ください。第2款医業費では、支出済額が2,100万8,187円で、不用額が228万1,813円となっております。第1項医科用医業費では、支出済額が1,343万9,053円となっております。第2項歯科用医業費では、支出済額が756万9,134円となっております。

第3款公債費では、支出済額が2,235万6,107円で、不用額が3万5,893円となっております。

187ページを御覧ください。第5款予備費では、支出済額がありませんでした。

以上で歳出の説明を終わります。

次に、歳入についてご説明いたします。恐れ入りますが、180ページにお戻り願います。第1款診療収入では、調定額、収入済額が同額の7,229万4,095円となっております。第1項医科外来収入では、調定額、収入済額が同額の5,523万8,737円となっております。第2項歯科外来収入では、調定額、収入済額が同額の1,543万1,191円となっております。第3項その他診療収入では、調定額、収入済額が同額の162万4,167円となっております。

181ページを御覧ください。第2款使用料及び手数料では、調定額、収入済額が同額の11万3,058円となっております。第1項手数料では、調定額、収入済額が同額の7万8,900円となっております。第2項使用料は、調定額、収入済額が同額の3万4,158円となっております。

第3款繰入金では、調定額、収入済額が同額の5,389万3,000円となっております。

第4款諸収入では、調定額、収入済額が同額の1,001万372円となっております。第1項雑入では、調定額、収入済額が同額の877万814円、第2項受託事業収入では、調定額、収入済額が同額の123万9,558円となっております。

182ページを御覧ください。第5款繰越金では、調定額、収入済額が同額の959円となっております。

第6款町債では、調定額、収入済額が同額の360万円となってお

ります。

以上で議案第42号 令和元年度中泊町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定についての説明を終わります。よろしくお願いいたします。

○沖崎委員長 説明が終わりましたので、これから質疑を行います。質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○沖崎委員長 質疑ないようですので、これをもちまして議案第42号 令和元年度中泊町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定についての質疑を終わります。

◎議案第43号の上程、説明、質疑

○沖崎委員長 日程第8、議案第43号 令和元年度中泊町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定についてを議題にします。

本案について担当課長に説明を求めます。

木元福祉課長。

○福祉課長(木元 剛君) おはようございます。議案第43号 令和元年度中泊町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定についてご説明申し上げます。

歳入歳出決算書の199ページを御覧ください。歳入決算額では、調定額17億6,203万4,585円、収入済額17億5,724万8,178円、不納欠損額157万2,856円、収入未済額321万3,551円、予算現額と収入済額との比較はマイナス257万6,822円となりました。

201ページを御覧ください。歳出決算額では、支出済額17億4,138万5,124円、不用額及び予算現額と支出済額との比較は同額の1,843万9,876円となりました。歳入歳出差引残額は1,586万3,054円となり、その全額を令和2年度へ繰り越すものでございます。

次に、歳入歳出決算の概要について歳入歳出決算事項別明細書によりご説明申し上げます。最初に、歳出からご説明申し上げます。

207ページを御覧ください。第1款総務費では、支出済額が5,328万6,611円となっております。第1項総務管理費では、支

出済額が4,238万2,115円となっております。208ページを御覧ください。第2項徴収費では、支出済額が58万6,980円となっております。第3項介護認定審査会費では、支出済額が1,031万7,516円となっております。

第2款保険給付費では、支出済額が15億8,078万6,071円となっております。第1項介護サービス等諸費では、支出済額が14億1,600万6,598円、209ページを御覧願います。第2項介護予防サービス等諸費では、支出済額が2,172万2,190円、第3項高額介護サービス等費では支出済額が5,388万3,722円、第4項その他諸費では支出済額が105万4,279円、第5項特定入所者介護サービス等費では支出済額が8,811万9,282円となっております。

第3款地域支援事業費の支出済額は9,057万9,575円となっております。第1項介護予防・生活支援サービス事業費では、支出済額が5,009万1,336円、210ページを御覧ください。第2項一般介護予防事業費では、支出済額が116万4,067円、第3項包括的支援事業・任意事業費では支出済額が3,908万7,245円、212ページを御覧ください。第4項その他諸費では、支出済額が23万6,927円となっております。

第4款基金積立金では、支出済額が1,038円となっております。

第5款公債費では、支出がありませんでした。

213ページを御覧願います。第6款諸支出金では、支出済額が1,673万1,829円となっております。

第7款予備費では、支出がありませんでした。

次に、歳入についてご説明申し上げます。203ページを御覧ください。第1款保険料では、調定額2億9,213万417円に対し収入済額が2億8,734万4,010円、不納欠損額が157万2,856円、収入未済額は321万3,551円、収納率は98.36%となっております。

第2款使用料及び手数料では、調定額、収入済額は同額の3万500円となっております。

第3款国庫支出金では、調定額、収入済額は同額の4億7,219万5,110円となっております。第1項国庫負担金では、調定額、

収入済額は同額の 2 億 8, 1 5 5 万 3, 0 0 0 円、第 2 項国庫補助金では調定額、収入済額は同額の 1 億 9, 0 6 4 万 2, 1 1 0 円となっております。

2 0 4 ページを御覧願います。第 4 款支払基金交付金では、調定額、収入済額は同額の 4 億 4, 4 7 4 万 6, 5 1 2 円となっております。

第 5 款県支出金では、調定額、収入済額は同額の 2 億 3, 2 7 0 万 8, 4 0 5 円となっております。第 1 項県負担金では、調定額、収入済額は同額の 2 億 1, 8 4 3 万 5, 9 7 5 円、第 2 項県補助金では調定額、収入済額は同額の 1, 4 2 7 万 2, 4 3 0 円となっております。

第 6 款財産収入では、調定額、収入済額は同額の 1, 0 3 8 円となっております。

2 0 5 ページを御覧願います。第 7 款繰入金では、調定額、収入済額は同額の 2 億 9, 8 7 5 万 6, 5 6 2 円、第 1 項一般会計繰入金では、調定額、収入済額は同額の 2 億 7, 8 5 4 万 1, 5 6 2 円、第 2 項基金繰入金では調定額、収入済額は同額の 2, 0 2 1 万 5, 0 0 0 円となっております。

第 8 款繰越金では、調定額、収入済額は同額の 2, 0 4 1 万 2, 7 0 8 円となっております。

第 9 款諸収入では、調定額、収入済額は同額の 1 0 5 万 3, 3 3 3 円、2 0 6 ページを御覧願います。第 1 項延滞金、加算金及び過料では、調定額、収入済額は同額の 5 万 2, 1 0 0 円、第 2 項雑入では調定額、収入済額は同額の 1 0 0 万 1, 2 3 3 円となっております。

以上、令和元年度中泊町介護保険事業特別会計の歳入歳出決算の認定についてご説明申し上げました。何とぞよろしくお願ひいたします。

○沖崎委員長 説明が終わりましたので、これから質疑を行います。質疑はありませんか。

(「なし」の声あり)

○沖崎委員長 質疑ないようですので、これをもちまして議案第 4 3 号 令和元年度中泊町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定についての質疑を終わります。

◎議案第 4 4 号の上程、説明、質疑

○沖崎委員長 日程第 9、議案第 4 4 号 令和元年度中泊町農業集落排水事業

特別会計歳入歳出決算の認定についてを議題にします。

本案について担当課長に説明を求めます。

阿部上下水道課長。

○上下水道課長（阿部 明君） おはようございます。議案第44号 令和元年度中泊町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定についてご説明申し上げます。

歳入歳出決算書の222ページを御覧願います。歳入決算額では、調定額3,972万9,445円、収入済額3,966万3,191円、収入未済額6万6,254円、予算現額と収入済額との比較はマイナス5万5,809円となりました。

次のページ、223ページを御覧願います。歳出決算額では、支出済額3,918万7,810円、不用額及び予算現額と支出済額との比較は同額の53万1,190円となりました。歳入歳出差引残額では47万5,381円となり、その全額を令和2年度へ繰り越すものであります。

次に、歳入歳出決算の概要について歳入歳出決算事項別明細書によりご説明いたしますので、226ページを御覧願います。

最初に、歳出からご説明いたします。第1款事業費、支出済額は1,223万5,767円となっております。これらの主な支出は、第2目施設管理費、11節需用費の電気料218万3,225円、12節役務費の汚泥搬出等の手数料416万5,000円、13節委託料の処理施設管理業務委託料354万2,400円などであります。

次のページ、227ページを御覧願います。第2款公債費、第1項公債費、第1目元金で支出済額が2,322万7,333円、第2目利子で支出済額が372万4,710円となっております。

第3款予備費では、支出はありませんでした。

次に、歳入であります。225ページにお戻り願います。第1款使用料及び手数料では、調定額563万9,621円に対し、収入済額は557万3,367円、収入未済額6万6,254円となっており、現年度分の収納率は98.81%であります。

第2款繰入金では、調定額、収入済額が同額の3,335万9,000円となっております。

第3款繰越金では、調定額、収入済額が同額の73万824円とな

っております。

以上、令和元年度中泊町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定についてご説明申し上げました。何とぞよろしく申し上げます。

○沖崎委員長 説明が終わりましたので、これから質疑を行います。質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○沖崎委員長 質疑ないようですので、これをもちまして議案第44号 令和元年度中泊町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定についての質疑を終わります。

◎議案第45号の上程、説明、質疑

○沖崎委員長 日程第10、議案第45号 令和元年度中泊町漁業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定についてを議題にします。

本案について担当課長に説明を求めます。

阿部上下水道課長。

○上下水道課長(阿部 明君) 議案第45号 令和元年度中泊町漁業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定についてご説明申し上げます。

歳入歳出決算書の236ページを御覧願います。歳入決算額では、調定額及び収入済額が同額の2,621万1,365円、予算現額と収入済額との比較はマイナス2万9,635円となりました。

次のページ、237ページを御覧願います。歳出決算額では、支出済額2,589万5,222円、不用額及び予算現額と支出済額との比較は同額の34万5,778円となりました。歳入歳出差引残額では31万6,143円となり、その全額を令和2年度へ繰り越すものであります。

次に、歳入歳出決算の概要について歳入歳出決算事項別明細書によりご説明いたしますので、240ページを御覧願います。

最初に、歳出からご説明いたします。第1款事業費、支出済額は882万1,515円となっております。これらの主な支出は、第2目施設管理費、11節需用費の電気料191万4,269円、物件等修繕料101万4,670円、13節委託料の処理施設管理業務委託料211万6,800円、施設機能診断委託料253万円などでありませ

第2款公債費、第1項公債費、第1目元金で支出済額が1,509万6,384円、次のページ、241ページを御覧願います。第2目利子で、支出済額が197万7,323円となっております。

第3款予備費では、支出はありませんでした。

次に、歳入であります。239ページにお戻り願います。第1款使用料及び手数料では、調定額及び収入済額は同額の280万7,382円となっており、収納率は100%であります。

第2款国庫支出金では、調定額、収入済額が同額の139万1,000円。

第3款繰入金では、調定額、収入済額が同額の2,167万2,000円となっております。

第4款繰越金では、調定額、収入済額が同額の34万983円となっております。

以上、令和元年度中泊町漁業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定についてご説明申し上げました。何とぞよろしくお願ひします。

○沖崎委員長 説明が終わりましたので、これから質疑を行います。質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○沖崎委員長 質疑ないようですので、これをもちまして議案第45号 令和元年度中泊町漁業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定についての質疑を終わります。

◎議案第46号の上程、説明、質疑

○沖崎委員長 続いて、日程第11、議案第46号 令和元年度中泊町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定についてを議題にします。

本案について担当課長に説明を求めます。

山中町民課長。

○町民課長(山中哲哉君) 議案第46号 令和元年度中泊町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定についてご説明申し上げます。

250ページを御覧ください。歳入決算額では、調定額2億6,865万6,266円、収入済額2億6,813万1,066円、不納欠損額15万4,700円、収入未済額37万500円、予算現額と収入済額との比較は321万3,066円となり、前年度決算額と比

較しますと703万8,290円、率にして2.70%の増となりました。

251ページを御覧願います。歳出決算額では、支出済額2億6,461万2,285円、不用額及び予算現額と支出済額との比較は同額の30万5,715円、前年度決算額と比較しますと441万1,731円、率にして1.70%の増となりました。歳入歳出差引残額は351万8,781円となり、その全額を令和2年度へ繰り越すものであります。

次に、歳入歳出決算の概要について歳入歳出決算事項別明細書により、歳出からご説明いたします。

255ページを御覧願います。第1款総務費では、支出済額が655万9,827円、不用額は13万4,173円となっております。第1項総務管理費では、支出済額が635万9,487円となっております。第2項徴収費では、支出済額が20万340円となっております。

第2款後期高齢者医療連合納付金では、支出済額が2億5,805万1,858円で、不用額が7万1,142円となっております。

256ページを御覧願います。第3款諸支出金では、支出済額が600円で、不用額が10万400円となっております。

以上で歳出の説明を終わります。

次に、歳入についてご説明申し上げます。恐れ入りますが、253ページにお戻り願います。第1款後期高齢者医療保険料では、調定額6,621万5,700円に対し収入済額は6,569万500円、不納欠損額は15万4,700円、収入未済額は37万500円、収納率は前年度比0.38%増の99.21%となりました。

第2款使用料及び手数料では、調定額、収入済額が同額の2万5,800円となっております。

第3款繰入金では、調定額、収入済額が同額の1億9,788万9,558円となっております。

第4款繰越金では、調定額、収入済額が同額の70万7,866円となっております。

第5款諸収入では、調定額、収入済額が同額の381万7,342円となっております。第1項延滞金加算金及び過料では、調定額、収

入済額が同額の1万1,000円となっております。254ページを御覧ください。第2項雑入では、調定額、収入済額が同額の380万6,342円となっております。

以上で議案第46号 令和元年度中泊町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定についての説明を終わります。よろしく願いいたします。

○沖崎委員長 説明が終わりましたので、これから質疑を行います。質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○沖崎委員長 質疑がないようですので、これをもちまして議案第46号 令和元年度中泊町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定についての質疑を終わります。

◎議案第47号の上程、説明、質疑

○沖崎委員長 日程第12、議案第47号 令和元年度中泊町水道事業特別会計利益の処分及び決算の認定についてを議題にします。

本案について担当課長に説明を求めます。

阿部上下水道課長。

○上下水道課長(阿部 明君) 議案第47号 令和元年度中泊町水道事業特別会計利益の処分及び決算の認定についてご説明申し上げます。

損益計算書をもって決算報告いたしますので、恐れ入りますが、中泊町水道事業特別会計決算書の8ページを御覧願います。1、営業収益では、(1)、水道事業給水収益として2億7,054万4,956円、前年度比で296万9,980円、率にして1.1%の減となっております。そして、(2)、受託工事収益及び(3)、その他の営業収益を合わせれば2億7,272万9,956円となりました。

2、営業費用では、(1)の水道事業原水及び浄水費から(7)、水道事業その他営業費用までを合わせた額は2億5,677万4,881円、前年度比694万7,316円、率にして2.7%の増となりました。営業収益から営業費用を差し引いた営業利益は1,595万5,075円、前年度比787万9,296円、率にして33.1%の減となりました。

3、営業外収益では、(1)、受取利息から(4)、雑収益までを合

わせた額は6,679万5,425円、前年度比435万3,565円、率にして6.1%の減となりました。

4、営業外費用では、(1)の支払利息が2,992万9,718円、前年度比309万3,298円、率にして9.4%の減となり、営業外収益から営業外費用を差し引きますと、営業外利益が3,686万5,707円となりました。よって、経常利益は営業利益の1,595万5,075円と営業外利益の3,686万5,707円を加算した5,282万782円、前年度比913万9,563円、率にして14.8%の減となりました。

また、次のページの6、特別損失が215万1,439円あったことから、当年度純利益が5,066万9,343円となり、前年度繰越利益剰余金1億9,005万2,010円を加算すると2億4,072万1,353円の利益剰余金になりました。

恐れ入りますが、18ページを御覧願います。昨年度から利益剰余金が計上されてはいますが、ここの事業報告、1、概況、(1)、総括事項にも述べておりますが、全国的に社会問題となっている少子高齢化、そして若年層の町外への流出等で給水収益の減収が大きな課題となっており、今後も今まで以上に不要不急等の経費を抑制し、健全経営に努めながら、安心、安定した水道水の供給を図ってまいりたいと思っております。

なお、収入、支出の詳細につきましては24ページからの費用明細書に記載しておりますので、後ほど御覧願います。

以上、令和元年度中泊町水道事業特別会計利益の処分及び決算の認定についてご説明申し上げました。何とぞよろしく願います。

○沖崎委員長 説明が終わりましたので、これから質疑を行います。質疑ありませんか。

6番、荒関委員。

○荒関委員 本案とは、直接関係ないのですけれども、中里で唯一水道事業に携わっている業者が店閉めたという関係があって、これから冬期間に入った場合、今まではそういう業者さんがいろんなことで、町民の苦情等に対応してきたとは思いますが、今後そういうのが全部今度は上下水道課に行ってしまうような感じを受けますので、その辺りの対応とか、また管工の工事事業者に何かしら、そういう場合にはこうい

うところ行ってくださいとか、今町指定の小さい仕事やる業者さん、
なくなってしまったので、そこら辺どういうふうに上下水道課のほう
で考えているのか……

○沖崎委員長 荒関委員、決算ですので、関連はしますけれども、18の日に
総括でできればお願いします。

そのほか質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○沖崎委員長 質疑ないようですので、これをもちまして議案第47号 令和
元年度中泊町水道事業特別会計利益の処分及び決算の認定についての
質疑を終わります。

◎散会の宣告

○沖崎委員長 以上で本日の日程は全部終了しました。

本日はこれで散会します。

散会 午前11時01分

令和2年中泊町議会決算特別委員会

令和2年9月17日(木曜日)

○議事日程 第2号

- 1 議案第41号 令和元年度中泊町一般会計歳入歳出決算の認定について

○出席委員(13名)

1番	田中	洋	君	2番	今	博	子	君
3番	成田	直人	君	4番	秋元	隆	君	
5番	塚本	悦子	君	6番	荒関	富雄	君	
7番	秋田	博	君	8番	川山	光則	君	
9番	青山	雅晴	君	10番	沖崎	勲	君	
11番	野上	憲幸	君	12番	野上	祐一	君	
13番	長利	司	君					

○欠席委員(なし)

○出席説明員

町	長	濱	舘	豊	光	君				
副	町	長	横	野	彰	吾	君			
教	育	長	米	塚	鈴	子	君			
代	表	監	査	委	員	葛	西	昭	文	君
総	務	課	長	葛	西	成	芳	君		
財	政	課	長	毛	内	康	裕	君		
総	合	戦	略	課	長	三	上	晃	瑠	君
税	務	課	長	太	田	光	平	君		
町	民	課	長	山	中	哲	哉	君		
福	祉	課	長	木	元	剛	君			
環	境	整	備	課	長	藤	本	雅	久	君
農	政	課	長	古	川	幹	人	君		

水産商工観光課長
小泊支所長
教育次長
総務学務課長
社会教育課長
会計課長
上下水道課長

越野進一君
加藤孝典君
成田勝輝君
藤田康久君
柏崎裕司君
下山貴子君
阿部明君

○職務のため出席した事務局職員

事務局長
総務情報課係
総務情報課係

宮越裕子君
木村将師君
佐々木一哉君

◎開議の宣告

○沖崎委員長 ただいまの出席委員数は 13 人です。定足数に達していますので、これから本日の会議を開きます。

本日の議事日程はお手元に配付のとおりです。本日は、決算特別委員会に付託されました令和元年度中泊町一般会計歳入歳出決算の審査を行います。

◎議案第 41 号の上程、説明、質疑

○沖崎委員長 日程第 1、議案第 41 号 令和元年度中泊町一般会計歳入歳出決算の認定についてを議題にします。

本案について担当課長に説明を求めます。

下山会計課長。

○会計課長（下山貴子君） 議案第 41 号 令和元年度中泊町一般会計歳入歳出決算の認定についてご説明申し上げます。

恐れ入りますが、10 ページを御覧願います。まず、歳入決算額では予算現額 75 億 1,653 万 1,000 円、歳入調定額 76 億 2,060 万 7,375 円、収入済額 75 億 1,899 万 9,651 円、不納欠損額 698 万 2,351 円、収入未済額 9,462 万 5,373 円、予算現額と収入済額との比較では 246 万 8,651 円となりました。

13 ページを御覧願います。歳出決算額では、予算現額 75 億 1,653 万 1,000 円、支出済額 73 億 4,114 万 4,761 円、翌年度繰越額 1,605 万 4,000 円、不用額 1 億 5,903 万 2,239 円、予算現額と支出済額との比較では 1 億 7,508 万 6,239 円となりました。

この結果、歳入歳出差引残額は 1 億 7,755 万 4,890 円となり、翌年度繰越明許費繰越額 75 万 1,000 円を差し引いた実質収支額は 1 億 7,680 万 3,890 円となりました。

次に、歳入歳出決算の概要について、歳入歳出決算事項別明細書により、款項を追って歳出からご説明申し上げますが、説明は支出済額とさせていただきます。

34ページを御覧願います。第1款議会費は、支出済額8,150万744円となっております。

35ページを御覧願います。第2款総務費では、支出済額10億1,657万3,083円となっております。第1項総務管理費、支出済額8億5,520万9,608円でございます。49ページを御覧願います。第2項徴税費、支出済額8,584万8,105円でございます。51ページを御覧願います。第3項戸籍住民基本台帳費、支出済額4,834万6,706円でございます。52ページを御覧願います。第4項選挙費、支出済額2,326万8,631円でございます。56ページを御覧願います。第5項統計調査費、支出済額341万160円でございます。59ページを御覧願います。第6項監査委員費、支出済額48万9,873円でございます。

第3款民生費、支出済額13億5,465万8,427円となっております。第1項社会福祉費、支出済額8億2,977万454円でございます。64ページを御覧願います。第2項児童福祉費、支出済額5億2,488万7,973円でございます。

67ページを御覧願います。第4款衛生費、支出済額10億4,119万7,686円となっております。第1項保健衛生費、支出済額5億4,252万9,823円でございます。74ページを御覧願います。第2項清掃費、支出済額2億8,100万7,005円でございます。75ページを御覧願います。第3項母子保健費、支出済額739万6,128円でございます。76ページを御覧願います。第4項病院費、支出済額1億7,813万7,260円でございます。第5項上水道整備費、支出済額3,212万7,470円でございます。

第5款労働費、支出済額15万6,120円となっております。

77ページを御覧願います。第6款農林水産業費、支出済額7億7,712万6,024円となっております。第1項農業委員会費、支出済額3,129万9,836円でございます。79ページを御覧願います。第2項農業費、支出済額1億5,797万8,445円でございます。83ページを御覧願います。第3項畜産業費、支出済額584万2,353円でございます。84ページを御覧願います。第4項農地費、支出済額4億6,533万7,903円でございます。86ページを御覧願います。第5項林業費、支出済額1,962万2,0

06円でございます。88ページを御覧願います。第6項水産業費、支出済額9,704万5,481円でございます。

91ページを御覧願います。第7款商工費、支出済額8,577万801円となっております。

96ページを御覧願います。第8款土木費、支出済額6億4,939万8,529円となっております。第1項土木管理費、支出済額4,280万3,101円でございます。98ページを御覧願います。第2項道路橋梁費、支出済額2億4,226万2,389円でございます。100ページを御覧願います。第3項河川費、支出済額1,880万7,841円でございます。101ページを御覧願います。第4項都市計画費、支出済額1,366万3,161円でございます。102ページを御覧願います。第5項住宅費、支出済額3億3,186万1,939円でございます。103ページを御覧願います。第6項土地開発基金費、支出済額98円でございます。

104ページを御覧願います。第9款消防費、支出済額4億9,206万4,273円となっております。

108ページを御覧願います。第10款教育費、支出済額6億4,218万79円となっております。第1項教育総務費、支出済額1億7,022万8,840円でございます。111ページを御覧願います。第2項小学校費、支出済額8,838万5,017円でございます。115ページを御覧願います。第3項中学校費、支出済額8,191万8,020円でございます。119ページを御覧願います。第4項社会教育費、支出済額1億8,172万398円でございます。131ページを御覧願います。第5項保健体育費、支出済額1億1,992万7,804円でございます。

137ページを御覧願います。第11款災害復旧費でございますが、第1項農林水産業施設災害復旧費並びに第2項公共土木施設災害復旧費において支出はありませんでした。

第12款公債費、支出済額12億81万8,995円となっております。

以上が歳出決算の概要であります。

次に、歳入決算について款項を追ってご説明申し上げます。お戻りいただいて、15ページを御覧願います。第1款町税では、調定額8

億 9, 784 万 8, 215 円に対し収入済額は 8 億 1, 246 万 6, 643 円、不納欠損額は 698 万 2, 351 円、収入未済額は 7, 839 万 9, 221 円、収納率は 90.49% となりました。収入済額の歳入総額に占める割合は 10.81% となっております。

項別では、第 1 項町民税で調定額 3 億 5, 117 万 9, 996 円に対し収入済額 3 億 3, 389 万 4, 092 円、不納欠損額 1 87 万 1, 443 円、収入未済額 1, 541 万 4, 461 円、収納率 95.08% となっております。

第 2 項固定資産税では、調定額 4 億 1, 342 万 8, 984 円に対し収入済額 3 億 4, 813 万 7, 816 円、不納欠損額 486 万 608 円、収入未済額 6, 043 万 560 円、収納率は 84.21% となっております。

第 3 項軽自動車税では、調定額 4, 326 万 5, 400 円に対し収入済額 4, 046 万 900 円、不納欠損額 25 万 300 円、収入未済額 255 万 4, 200 円、収納率 93.52% となっております。

16 ページを御覧願います。第 4 項たばこ税では、調定額、収入済額は同額の 8, 992 万 5, 085 円となっております。

第 5 項入湯税では、調定額、収入済額は同額の 4 万 8, 750 円となっております。

第 2 款地方譲与税では、調定額、収入済額は同額の 6, 701 万 7, 006 円となっております。第 1 項地方揮発油譲与税では、調定額、収入済額は同額の 1, 637 万 6, 006 円となっております。第 2 項自動車重量譲与税では、調定額、収入済額は同額の 4, 716 万 1, 000 円となっております。17 ページを御覧願います。今年度新たに第 3 項森林環境譲与税として、調定額、収入済額は同額の 348 万円となっております。

第 3 款利子割交付金では、調定額、収入済額は同額の 62 万 5, 000 円となっております。

第 4 款配当割交付金では、調定額、収入済額は同額の 148 万 6, 000 円となっております。

第 5 款株式等譲渡所得割交付金では、調定額、収入済額は同額の 82 万 7, 000 円となっております。

第 6 款地方消費税交付金では、調定額、収入済額は同額の 1 億 7,

966万9,000円となっており、歳入総額に占める割合は2.39%となっております。

第7款自動車取得税交付金では、調定額、収入済額は同額の973万4,115円となっております。

第8款地方特例交付金では、調定額、収入済額は同額の761万8,000円となっております。第1項地方特例交付金では、調定額、収入済額は同額の251万5,000円となっております。18ページを御覧願います。今年度新たに第2項子ども・子育て支援臨時交付金として、調定額、収入済額は同額の510万3,000円となっております。

第9款地方交付税では、調定額、収入済額は同額の36億7,108万円となっており、収入済額の歳入総額に占める割合は48.82%となっております。

第10款交通安全対策特別交付金では、調定額、収入済額は同額の53万3,000円となっております。

第11款分担金及び負担金では、調定額、収入済額は同額の150万3,100円となっております。

第12款使用料及び手数料では、調定額1億803万6,398円に対し収入済額9,744万9,798円、収入未済額1,058万6,600円となっております。第1項使用料では、調定額1億135万3,318円、収入済額9,076万6,718円、収入未済額1,058万6,600円となっております。20ページを御覧願います。第2項手数料では、調定額、収入済額は同額の668万3,080円となっております。

21ページを御覧願います。第13款国庫支出金では、調定額、収入済額は同額の6億9,249万376円となっており、収入済額の歳入総額に占める割合は9.21%となっております。第1項国庫負担金では、調定額、収入済額は同額の4億4,896万1,808円となっております。22ページを御覧願います。第2項国庫補助金では、調定額、収入済額は同額の2億2,460万46円となっております。23ページを御覧願います。第3項国庫委託金では、調定額、収入済額は同額の1,892万8,522円となっております。

第14款県支出金では、調定額、収入済額は同額の5億9,508

万4,786円となっております。第1項県負担金では、調定額、収入済額は同額の2億8,398万4,793円となっております。24ページを御覧願います。第2項県補助金では、調定額、収入済額は同額の2億5,671万1,559円となっております。26ページを御覧願います。第3項県委託金では、調定額、収入済額は同額の5,438万8,434円となっております。

27ページを御覧願います。第15款財産収入では、調定額2,727万6,156円、収入済額2,703万6,604円、収入未済額は23万9,552円となっております。第1項財産運用収入では、調定額1,540万376円、収入済額は1,516万824円、収入未済額は23万9,552円となっております。28ページを御覧願います。第2項財産売払収入では、調定額、収入済額は同額の1,187万5,780円となっております。

第16款寄附金では、調定額、収入済額は同額の5,846万6,800円となっております。

第17款繰入金では、調定額、収入済額は同額の1億8,656万3,000円となっており、収入済額の歳入総額に占める割合は2.48%となっております。

第18款繰越金では、調定額、収入済額は同額の1億5,742万191円となっており、収入済額の歳入総額に占める割合は2.09%となっております。

第19款諸収入では、調定額、収入済額は同額の1億827万7,232円となっており、収入済額の歳入総額に占める割合は1.44%となっております。第1項延滞金加算金及び過料では、調定額、収入済額は同額の204万5,013円となっております。第2項町預金利子では、調定額、収入済額は同額の2万2,375円となっております。29ページを御覧願います。第3項貸付金元利収入では、調定額、収入済額は同額の192万9,000円となっております。第4項受託事業収入では、調定額、収入済額は同額の136万5,500円となっております。第5項雑入では、調定額、収入済額は同額の1億291万5,344円となっております。

32ページを御覧願います。第20款町債では、調定額は8億4,700万円、収入済額は8億4,160万円、収入未済額540万円

となっており、収入済額の歳入総額に占める割合は11.19%となっており、収入未済額については、薄市橋補修工事の繰越分の町債でございます。

最後になりますが、33ページを御覧願います。今年度新たに第21款環境性能割交付金として、調定額、収入済額は同額の205万2,000円となっております。

以上で令和元年度中泊町一般会計歳入歳出決算の概要についてご説明申し上げました。よろしくお願いたします。

○沖崎委員長 毛内財政課長。

○財政課長（毛内康裕君） おはようございます。私からは、決算書別添資料の令和2年度以降起債区分別公債費一覧及び令和元年度地方消費税交付金が充てられる社会保障4経費、その他社会保障施策に要する経費並びに令和元年度各特別会計への繰出金及び補助金の状況についてご説明いたします。

最初に、令和2年度以降起債区分別公債費一覧について簡単にご説明申し上げます。資料の1ページから2ページでございます。令和元年度まで借入れした町債について、その償還額を令和2年度から令和11年度までの10年間で、起債区分は国へ提出した地方財政状況調査の区分を基に作成しております。参考までに、令和2年度は償還合計額が12億1,529万7,000円、令和3年度は12億1,779万4,000円とピークを迎え、以降減少傾向となる見込みであります。また、各年度ごとに普通交付税算入見込額、公債費合計額から交付税算入見込額を差し引いた公債費に要する一般財源を掲載しておりますので、参考にしていただければと思います。

次に、3ページの地方消費税交付金が充てられる社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費の表を御覧願います。平成26年度から消費税が3%、令和元年度にはさらに2%引き上げられましたが、引上げ分は社会保障経費に充てることとなっております。令和元年度の社会保障分の地方消費税は8,190万8,000円の決算となっており、資料はその用途を表にまとめたものでございます。

4ページを御覧願います。令和元年度で各特別会計への繰出金と補助金の状況でございます。うち法定外繰出金は、国民健康保険（診療施設勘定）繰出金、農業集落排水事業繰出金及び漁業集落排水事業繰

出金に含まれる元利償還金以外のものであり、その他の各特別会計繰出金については、全て法定内繰出金及び補助金となっております。

以上、別添資料についてご説明申し上げました。よろしくお願いたします。

○沖崎委員長 お諮りします。

本案に対する質疑は歳入と歳出を分けて行いたいと思います。ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○沖崎委員長 異議なしと認めます。

したがって、質疑は歳入と歳出を分けて行うことに決定しました。

なお、ご質問の際は決算書のページを示してお願いします。

それでは、議案第41号の歳入に対する質疑を行います。質疑ありませんか。

6番委員。

○6番(荒関富雄君) 33ページ、この新しい環境性能割交付金、この性質を教えてくださいませんか。どのような内容の交付金なのか。

○沖崎委員長 財政課長。

○財政課長(毛内康裕君) 荒関委員のご質問にお答えいたします。

この環境性能割交付金については、令和元年10月1日から自動車取得税が廃止され、自動車税環境性能割が導入されました。それによって、自動車の取得に対して課税されるものでありますけれども、自動車の環境性能に応じた税率で県が徴収したものを町に交付しているということでございます。

○沖崎委員長 そのほか質疑ありませんか。

荒関委員。

○6番(荒関富雄君) 29ページをお願いします。ここに、雑入で学校の給食収入入っているのですが、この給食収入そのものは教職員の負担も入ってこれだけなのですか、子育て支援の関係で、今年度は3月まで給食費は無料化なのですか、今後子供たちの給食費の無料化等を考えに入れてもらえないものかと、生徒の負担分でいくと2,100万円ぐらいですので、何とかならないものではないかと、町長にお伺いいたします。

○沖崎委員長 濱館町長。

○町長（濱館豊光君） 学校給食費の関係については、以前からも何度か議会のほうでもご議論いただいている部分だと思うのですが、今回はコロナウイルス感染症の関係で、様々各家計への負担というものが大きくなってきているだろうということで、経費的にも財源として地方創生臨時交付金を充てることが認められていたために、3月まで給食費のほうを町としても支援をさせていただくと。コロナ対策の一環としてやらせていただいているわけではありますが、平常時というか、通常時の給食費の在り方については、今後議員各位ともご議論を重ねながら、どうあるべきなのか、ここは賛否両論あるかと思しますので、ご議論をいただきながら町として考えていきたいなというふうに考えてございます。

以上でございます。

○沖崎委員長 そのほか質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○沖崎委員長 質疑がないようですので、これをもちまして歳入に対する質疑を終わります。

続いて、議案第41号の歳出に対する質疑を行います。

お諮りします。歳出に対する質疑は各款ごとに行いたいと思いますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○沖崎委員長 異議なしと認めます。

したがって、歳出に対する質疑は各款ごとに行うことに決定しました。

それでは、第1款議会費に対する質疑を行います。質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○沖崎委員長 質疑ないので、第1款議会費に対する質疑を終わります。

続いて、第2款総務費に対する質疑を行います。質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○沖崎委員長 質疑ないので、第2款総務費に対する質疑を終わります。

続いて、第3款民生費に対する質疑を行います。質疑はありません

か。

(「なし」の声あり)

○沖崎委員長 質疑ないようですので、第3款民生費に対する質疑を終わります。

続いて、第4款衛生費に対する質疑を行います。質疑はありませんか。

(「なし」の声あり)

○沖崎委員長 質疑がないようですので、第4款衛生費に対する質疑を終わります。

続いて、第5款労働費に対する質疑を行います。質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○沖崎委員長 質疑がないようですので、第5款労働費に対する質疑を終わります。

続いて、第6款農林水産業費に対する質疑を行います。質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○沖崎委員長 質疑がないようですので、第6款農林水産業費に対する質疑を終わります。

続いて、第7款商工費に対する質疑を行います。質疑はありませんか。

(「なし」の声あり)

○沖崎委員長 質疑がないようですので、第7款商工費に対する質疑を終わります。

続いて、第8款土木費に対する質疑を行います。質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○沖崎委員長 質疑がないようですので、第8款土木費に対する質疑を終わります。

続いて、第9款消防費に対する質疑を行います。質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○沖崎委員長 質疑がないようですので、第9款消防費に対する質疑を終わります。

続いて、第10款教育費に対する質疑を行います。質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○沖崎委員長 質疑がないようですので、第10款教育費に対する質疑を終わります。

続いて、第11款災害復旧費に対する質疑を行います。質疑はありませんか。

(「なし」の声あり)

○沖崎委員長 質疑がないようですので、第11款災害復旧費に対する質疑を終わります。

続いて、第12款公債費に対する質疑を行います。質疑はありませんか。

(「なし」の声あり)

○沖崎委員長 質疑がないようですので、第12款公債費に対する質疑を終わります。

続いて、第13款予備費に対する質疑を行います。質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○沖崎委員長 質疑がないようですので、第13款予備費に対する質疑を終わります。

これで議案第41号 令和元年度中泊町一般会計歳入歳出決算の認定についての質疑を終わります。

以上で決算特別委員会に付託されました議案第41号から議案第47号までの令和元年度中泊町一般会計歳入歳出決算、各特別会計歳入歳出決算及び利益の処分及び決算に対する質疑は全て終了しました。

◎議案第41号～議案第47号の討論

○沖崎委員長 これから討論を行います。討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○沖崎委員長 討論がないようですので、これで討論を終わります。

◎議案第41号～議案第47号までの採決

○沖崎委員長 これから採決を行います。

お諮りします。議案第41号から議案第47号までの令和元年度中泊町一般会計歳入歳出決算、各特別会計歳入歳出決算及び利益の処分

及び決算は原案のとおり認定することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○沖崎委員長 異議なしと認めます。

したがって、議案第41号から議案第47号までの令和元年度中泊町一般会計歳入歳出決算、各特別会計歳入歳出決算及び利益の処分及び決算は原案のとおり認定すべきものと決定しました。

去る9月11日、決算特別委員会に付託されました議案を2日間にわたり慎重に審査していただきまして、誠にありがとうございました。

◎閉会の宣告

○沖崎委員長 以上で本日の日程は全部終了しました。

本日の会議を閉じます。

これをもちまして決算特別委員会を閉会します。

閉会 午前10時39分

上記会議のてん末を記載しその相違ないことを証するため
ここに署名する。

臨時委員長 野上祐一

委員長 神崎勲

署名委員 今博子

署名委員 岡田直人